

静岡商工会議所・製造業部会(部会長:榊原公一、部会員:1730社)では、「静岡のものづくりで輝く女性経営者たち」をテーマに、製造業界で活躍されている女性経営者にスポットを当て、経営方針から人材育成、女性活躍推進など、女性目線から見た座談会を開催しました。(文責:企画広報室)

静岡のものづくりで輝く 女性経営者たち



出席者(写真順)

(有)小池石材店
取締役
小池朝美さん

北川木材工業(株)
代表取締役
北川攝子さん

(司会)
製造業部会 部会長
(株)小糸製作所
代表取締役副社長
榊原公一さん

(株)水鳥工業
専務取締役
水鳥友紀子さん

(株)山崎製作所
代表取締役
山崎かおりさん

会社が危機に直面した時、
経営を引き継ぐ決断をした

榊原 大所帯の製造業部会の中で今回は、いま輝いている女性経営者をご紹介したいと考え、お集まりいただききました。最初に自己紹介をお願いします。

山崎 父が1967年に創業し、私は2代目です。板金加工業で、工作機械のカバーの部品を製作してきました。私は1989年から経理を担当していたのですが、2008年のリーマンショックの影響が2次3次の下請けへ響いて、売上が半減してしまい、父が経営を止めようかと言うものですから思い悩んで、8年前、45歳の時に事業を継ぎました。

私のまわりは男性ばかりで、業界団体の会合でも女性は私一人ということが多く、最初は怖くて、早く帰りたいなど思うたことを記憶しています。

8年前から経営の勉強を始めて、いろいろな改革を行って、経営状況は大きく回復しました。

北川 東京の大学で教職免許を取得後、横浜の海外向け物流会社に2年弱

(株)山崎製作所

創業/1967年

所在地/静岡市清水区長崎24-1

電話/054・345・2186

「丹精をこめる。」大御所時代、徳川家康により全国から駿河に集められた鎧、刀等の職人たち。かつて「金属の芸術家」と呼ばれた先人の技術と感性をルーツに、板金のさらなる可能性に挑み、次世代へ引き継ぐために、金属に真正面から向き合い、丹精をこめております。

機械板金加工50年。医療機器、制御盤、フレーム等多品種の製作と共に、自社ブランド「三代目板金屋」にて、金属の新しい輝きをお届けして参ります。



KANZASHI



「国芳の嬢」全4種